



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 PHCホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6523 URL <https://www.phchd.com/jp/ir>  
代表者 （役職名） 代表取締役社長CEO （氏名） 出口 恭子  
問合せ先責任者 （役職名） 経営管理部 上席部長 （氏名） 木村 正志 TEL 03-5408-7280  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	269,251	0.9	17,108	0.5	2,503	△80.0	534	△93.0	695	△90.9	22,116	124.6
2025年3月期第3四半期	266,910	4.0	17,028	-	12,491	-	7,581	-	7,639	-	9,845	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	5.50	5.47
2025年3月期第3四半期	60.58	60.33

（参考）持分法による投資損益 2026年3月期第3四半期69百万円 2025年3月期第3四半期△274百万円

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	552,667	158,610	159,287	28.8
2025年3月期	532,482	141,171	141,639	26.6

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	21.00	-	21.00	42.00
2026年3月期	-	21.00	-		
2026年3月期（予想）				21.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
通期	363,100	0.4	20,000	△11.4	4,400	△76.6	2,000	△80.7	2,000	△80.9	円 銭 15.82

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 2026年3月期の連結業績予想について、詳細は添付資料P.8「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 - 社 (社名)、除外 - 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	126,721,820株	2025年3月期	126,410,072株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	211,966株	2025年3月期	211,941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	126,425,381株	2025年3月期3Q	126,110,111株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	7
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	16
(継続企業の前提に関する注記) .....	16
(セグメント情報) .....	16
(売上収益) .....	19

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、「当期」）における当社グループの売上収益は269,251百万円（前年同期比0.9%増）となりました。糖尿病マネジメントは持続血糖測定（CGM）事業及び血糖値測定（BGM）事業の先進国での販売好調に加え、為替の好影響もあり増収となりました。ヘルスケアソリューションはCRO事業が減収となりましたが、LSIM事業の遺伝子分野の検査売上やヘルスケアITソリューション事業の電子カルテ・レセプト関連売上により増収となりました。診断・ライフサイエンスは主に米国を中心とした市況停滞等の影響を受け減収となりました。

営業利益は17,108百万円（前年同期比0.5%増）となりました。糖尿病マネジメントはBGM事業が主に先進国での好調な販売を受け大幅な増益となりました。ヘルスケアソリューションは、LSIM事業が増収及びコスト削減により増益となったものの、ヘルスケアITソリューション事業における利益率の高い電子処方箋管理ソフトウェア需要の減少やCRO事業の減収影響により、また、診断・ライフサイエンスは減収、米国関税及び後述の本社機能見直しの影響等によりそれぞれ減益となりました。

調整後EBITDAは38,136百万円（前年同期比0.4%減）となりました。主な当該調整項目としては、一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期905百万円加算、前年同期666百万円加算）、一時的なその他の収益・費用（当期278百万円減算、前年同期636百万円減算）がありました。

税引前四半期利益は2,503百万円（前年同期比80.0%減）となりました。支払利息は減少したものの、為替差損が、前年同期の76百万円に対し、当期は10,474百万円を計上したことが要因です。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、695百万円（前年同期比90.9%減）となりました。

なお、当期より本社機能を見直し、一部の本社の役割を各事業に移管しております。当該見直しは全社業績に影響はありませんが、セグメント別の利益には影響があります。当期実績への影響については各セグメントの「営業利益・調整後EBITDAの状況」に記載しております。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	266,910	269,251	0.9%
営業利益	17,028	17,108	0.5%
EBITDA	38,250	37,390	△2.2%
調整後EBITDA	38,307	38,136	△0.4%
税引前四半期利益	12,491	2,503	△80.0%
四半期利益	7,581	534	△93.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	7,639	695	△90.9%
米ドル平均レート（円）	152.46 円	148.65 円	△3.81 円
ユーロ平均レート（円）	164.76 円	171.86 円	7.10 円

（注）EBITDA、調整後EBITDAは国際会計基準（IFRS会計基準）に基づく開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	17,028	17,108	0.5%
＋ 減価償却費	21,338	20,280	△5.0%
＋ 減損損失（有価証券等を除く）	△117	1	－
EBITDA	38,250	37,390	△2.2%
（調整額）			
＋ 一時的なM&A関連収益・費用	27	119	340.7%
＋ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	666	905	35.9%
＋ 一時的な資産の処分等収益・費用	－	－	－
＋ 一時的なその他の収益・費用	△636	△278	－
調整後EBITDA	38,307	38,136	△0.4%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

セグメント別の状況  
糖尿病マネジメント

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	74,214	77,077	3.9%
営業利益	10,544	14,737	39.8%
EBITDA	15,415	18,261	18.5%
調整後EBITDA	15,780	18,901	19.8%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	10,544	14,737	39.8%
＋ 減価償却費	4,951	3,524	△28.8%
＋ 減損損失（有価証券等を除く）	△80	—	—
EBITDA	15,415	18,261	18.5%
（調整額）			
＋ 一時的なM&A関連収益・費用	—	—	—
＋ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	373	640	71.6%
＋ 一時的な資産の処分等収益・費用	—	—	—
＋ 一時的なその他の収益・費用	△8	—	—
調整後EBITDA	15,780	18,901	19.8%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

## &lt;売上収益の状況&gt;

当期の糖尿病マネジメントの売上収益は、77,077百万円（前年同期比3.9%増）となりました。BGM事業は先進国における市場縮小や低価格チャネルへの移行が続く中でも、販売協業終了影響が縮小した米国において単価向上及び販売数量増加施策が奏功していること、また、欧州の堅調な販売に加え為替の好影響もあり、増収でした。加えてCGM事業は米国において前第3四半期連結会計期間に上市した1年間継続使用が可能なEversense 365により増収となりました。

## &lt;営業利益・調整後EBITDAの状況&gt;

当期の糖尿病マネジメントの営業利益は、14,737百万円（前年同期比39.8%増）となりました。前述の本社機能見直しによる影響△211百万円やCGM事業の譲渡関連費用の計上があったものの、BGM事業が先進国で好調であったことや収益改善及び単価向上施策による利益率の改善に加え、これまでの構造改革によるコスト削減効果や減価償却費の減少、CGM事業の改善等により、大幅な増益となりました。

調整後EBITDAは18,901百万円（前年同期比19.8%増）となりました。主な当該調整項目として、一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期640百万円加算、前年同期373百万円加算）の計上がありました。

## ヘルスケアソリューション

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	94,202	95,218	1.1%
営業利益	5,959	4,929	△17.3%
EBITDA	13,404	12,731	△5.0%
調整後EBITDA	13,431	12,851	△4.3%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	5,959	4,929	△17.3%
＋ 減価償却費	7,445	7,802	4.8%
＋ 減損損失（有価証券等を除く）	—	—	—
EBITDA	13,404	12,731	△5.0%
（調整額）			
＋ 一時的なM&A関連収益・費用	26	119	357.7%
＋ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	—	—	—
＋ 一時的な資産の処分等収益・費用	—	—	—
＋ 一時的なその他の収益・費用	—	—	—
調整後EBITDA	13,431	12,851	△4.3%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

## &lt;売上収益の状況&gt;

当期のヘルスケアソリューションの売上収益は、95,218百万円（前年同期比1.1%増）となりました。内訳として、LSIM事業が50,682百万円（前年同期比1.6%増）、ヘルスケアITソリューション事業が39,176百万円（前年同期比3.4%増）、CRO事業が5,360百万円（前年同期比16.6%減）でした。

LSIM事業は、不適切事案の影響を受けるも、成長施策として取り組んでいる遺伝子分野の検査売上の増加等により微増となりました。

ヘルスケアITソリューション事業は、電子処方箋管理ソフトウェアの需要減少に伴う影響を、電子カルテ・レセプト関連売上で補い、増収となりました。

CRO事業は、LSIMの不適切事案の影響等による治験受注の減少や、前年同期には非臨床事業において大型安全性試験の完成があったこと等により、減収となりました。

## &lt;営業利益・調整後EBITDAの状況&gt;

当期のヘルスケアソリューションの営業利益は、4,929百万円（前年同期比17.3%減）となりました。LSIM事業が増収及びコスト削減により増益となりました。一方、ヘルスケアITソリューション事業は電子カルテ・レセプト関連の増収影響はあったものの、利益率の高い電子処方箋管理ソフトウェア需要の減少影響、新製品上市に伴う減価償却費増加やIT機器の仕入価格の上昇影響等により、また、CRO事業は減収影響により減益となりました。なお、前述の本社機能見直しによる影響は、△60百万円でした。

調整後EBITDAは、12,851百万円（前年同期比4.3%減）となりました。主な当該調整項目として、一時的なM&A関連収益・費用（当期119百万円加算、前年同期26百万円加算）の計上がありました。

## 診断・ライフサイエンス

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	96,060	92,392	△3.8%
営業利益	6,722	2,337	△65.2%
EBITDA	15,180	10,845	△28.6%
調整後EBITDA	14,683	10,569	△28.0%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	6,722	2,337	△65.2%
＋ 減価償却費	8,458	8,506	0.6%
＋ 減損損失（有価証券等を除く）	－	1	－
EBITDA	15,180	10,845	△28.6%
（調整額）			
＋ 一時的なM&A関連収益・費用	－	－	－
＋ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	134	2	△98.5%
＋ 一時的な資産の処分等収益・費用	－	－	－
＋ 一時的なその他の収益・費用	△631	△278	－
調整後EBITDA	14,683	10,569	△28.0%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

## &lt;売上収益の状況&gt;

当期の診断・ライフサイエンスの売上収益は、92,392百万円（前年同期比3.8%減）となりました。内訳として、病理事業が42,600百万円（前年同期比1.5%減）、バイオメディカ事業が36,553百万円（前年同期比4.2%減）、診断薬事業が13,238百万円（前年同期比9.7%減）でした。

病理事業は若干の減収となりました。欧州において消耗品やガラスが引き続き堅調であることに加え、デジタルパソロジー製品の第1四半期連結会計期間の大型案件の獲得により、また、アジア太平洋地域は中国におけるデジタルパソロジー製品を含む現地自社生産製品のポートフォリオ拡充による売上増加により増収となったものの、米州で継続する機器需要の停滞影響を補うには至りませんでした。

バイオメディカ事業は、欧州や日本等において回復の傾向がみられるも、米国政策による需要減少等の影響を受け、減収となりました。米州は製薬・バイオ医薬品向け中規模案件が徐々に増加している一方、米国政府機関や大学・研究機関の予算削減等による需要停滞が継続しています。欧州地域は、フランスにおいて製薬企業からの受注増加に加え大学や研究機関向けも好調、その他の国においても概ね良好に推移し、為替の好影響もあり増収となりました。日本は、製薬企業や大学、研究機関の新棟建設等の大型案件が牽引し増収となりました。

診断薬事業は、ロシア向け販売の減少や中国の検査数減少等の影響を受け、移動式免疫発光測定装置パスファースト用試薬及び自動分析装置用試薬が減少したことや、電動式医薬品注入器の販売減少、前年同期に一時収益の計上があったこと等により減収となりました。

## &lt;営業利益・調整後EBITDAの状況&gt;

当期の診断・ライフサイエンスの営業利益は、2,337百万円（前年同期比65.2%減）となりました。関連会社の区分変更によるその他収益の計上や、生産拠点の最適化によるコスト削減効果があった一方、減収影響をその他の合理化等の施策で吸収できなかったこと、診断薬事業における前年同期の一時収益の影響に加え、前述の本社機能の見直しによる影響額△819百万円、関税影響約15億円等が要因です。

調整後EBITDAは、10,569百万円（前年同期比28.0%減）となりました。主な当該調整項目には、一時的なその他の収益・費用（当期278百万円減算、前年同期631百万円減算）がありました。



## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて20,184百万円増加し、552,667百万円となりました。この主な要因は、為替の影響によりのれんが13,824百万円増加したこと、現金及び現金同等物が5,282百万円増加した一方、償却が進んだこと等により有形固定資産が4,544百万円減少、無形資産が4,278百万円減少したこと、有価証券の時価評価等によりその他の金融資産が3,663百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べて2,745百万円増加し、394,056百万円となりました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務が10,730百万円増加したこと、借入金について、返済が進んだことにより減少した一方、円安の影響を受けたこと等により増加し、純額で8,807百万円減少したことによるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末と比べて17,439百万円増加し、158,610百万円となりました。この主な要因は、在外営業活動体の換算差額等によりその他の資本の構成要素が20,877百万円増加した一方、主に親会社の所有者に帰属する四半期利益を695百万円、支払配当を△5,306百万円計上した結果、利益剰余金が3,808百万円減少したことによるものであります。また、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の26.6%から2.2ポイント増加して28.8%となりました。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ5,282百万円増加し、44,875百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動からの現金純額は27,227百万円であり、前年同期比449百万円の収入の減少となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された現金純額は5,792百万円であり、主として有形固定資産及び無形資産の取得による支出6,175百万円から構成されております。前年同期から425百万円の支出の減少となりましたが、当該減少の主な要因は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用された現金純額は22,555百万円であり、主として長期借入金の返済による支出21,455百万円、長期借入による収入4,228百万円及びリース負債の返済による支出4,416百万円から構成されております。前年同期から8,107百万円の支出の減少となりましたが、当該減少の主な要因は、長期借入による収入があったことによるものであります。

## (4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想を以下のとおり修正します。

当期の連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前 利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 (百万円)	基本的1 株当たり 当期利益 (円)	*調整後 EBITDA (百万円)
前回発表予想 (A)	363,100	20,000	8,000	4,500	4,400	34.80	47,800
今回修正予想 (B)	363,100	20,000	4,400	2,000	2,000	15.82	47,800
増減額 (B-A)	—	—	△3,600	△2,500	△2,400	△18.98	—
増減率 (%)	—	—	△45.0	△55.6	△54.5	△54.5	—
(参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	361,593	22,580	18,823	10,364	10,485	83.13	50,095

(注) 調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

\*調整後EBITDAは国際会計基準（IFRS会計基準）に基づく開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

当第3四半期連結会計期間において為替相場の変動により、為替差損3,632百万円を金融費用に計上いたしました。これは、主に当社の連結子会社からのユーロ建ての外貨借入金に係る為替評価によるものです。

当該為替差損を織り込み、通期業績予想を修正いたします。

売上収益、営業利益、調整後EBITDAは、第3四半期連結累計期間までの実績は前回発表予想に対し想定を上回って進捗しておりますが、事業環境等を保守的に見込み、現時点では総額、セグメントの内訳ともに据え置くことといたしました。

第3四半期連結会計期間に計上した為替差損及び関連する税金費用を織り込み、税引前利益については36億円下方修正の44億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は24億円下方修正の20億円を見込みます。

なお、為替差損の主な内訳は未実現の評価損であり、キャッシュフローは伴わないことを踏まえ、期末の配当予想は従来の21円（年間42円）を据え置いております。

参考：セグメント別の業績予想（前回発表予想から変更はありません）

（単位：百万円）

セグメントの名称	売上収益	営業利益(損失)	調整後EBITDA
糖尿病マネジメント	99,000	18,200	23,400
ヘルスケアソリューション	131,300	8,100	18,800
診断・ライフサイエンス	128,100	3,000	13,700
本社・その他	4,800	△9,300	△8,100
合計	363,100	20,000	47,800

\*当期より本社機能を見直し、一部の本社の役割を各事業部に移管したことに伴い、営業利益及び調整後EBITDAについては2025年8月7日にセグメント別の内訳を変更しております。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	39,592	44,875
営業債権	70,530	69,897
棚卸資産	51,694	58,971
その他の金融資産	4,308	4,152
その他の流動資産	6,665	11,330
流動資産合計	172,790	189,227
非流動資産		
有形固定資産	48,374	43,830
のれん	206,500	220,325
無形資産	80,649	76,370
持分法で会計処理されている投資	1,821	983
その他の金融資産	13,932	10,424
繰延税金資産	6,120	9,018
その他の非流動資産	2,293	2,485
非流動資産合計	359,691	363,439
資産合計	532,482	552,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	65,665	76,367
借入金	34,278	243,363
未払法人所得税等	4,207	4,214
引当金	7,725	8,086
その他の金融負債	5,812	8,604
その他の流動負債	22,865	20,558
流動負債合計	140,555	361,194
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	597	626
借入金	220,982	3,090
退職給付に係る負債	5,544	5,580
引当金	4,575	4,729
その他の金融負債	8,358	7,077
繰延税金負債	9,291	10,271
その他の非流動負債	1,405	1,486
非流動負債合計	250,755	32,862
負債合計	391,310	394,056
資本		
資本金	48,623	48,781
資本剰余金	42,039	42,460
利益剰余金	2,991	△817
自己株式	△568	△568
その他の資本の構成要素	48,553	69,431
親会社の所有者に帰属する持分合計	141,639	159,287
非支配持分	△468	△677
資本合計	141,171	158,610
負債及び資本合計	532,482	552,667

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	266,910	269,251
売上原価	141,765	145,644
売上総利益	125,145	123,606
販売費及び一般管理費	108,251	107,652
その他の収益	672	1,585
その他の費用	262	500
持分法による投資損益(△は損失)	△274	69
営業利益(△は損失)	17,028	17,108
金融収益	306	230
金融費用	4,844	14,835
税引前四半期利益(△は損失)	12,491	2,503
法人所得税費用	4,910	1,969
四半期利益(△は損失)	7,581	534
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	7,639	695
非支配持分	△58	△161
1株当たり四半期利益(△は損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	60.58	5.50
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失) (円)	60.33	5.47

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益 (△は損失)	7,581	534
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△531	752
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	23	△3,785
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△12	17
在外営業活動体の換算差額	2,772	25,029
持分法によるその他の包括利益	12	△431
税引後その他の包括利益	2,264	21,582
四半期包括利益	9,845	22,116
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,914	22,325
非支配持分	△68	△208
四半期包括利益	9,845	22,116

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2024年4月1日時点の残高	48,423	41,797	△2,773	△568	—	△1,110	△3
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	7,639	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△531	23	△12
四半期包括利益合計	—	—	7,639	—	△531	23	△12
新株の発行	128	△91	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△4,917	—	—	—	—
新株予約権及びリストラクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	△180	178	—	—	—	—
株式報酬取引	—	348	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△319	—	531	△212	—
所有者との取引額合計	128	76	△5,058	—	531	△212	—
2024年12月31日時点の残高	48,551	41,874	△192	△568	—	△1,299	△16

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2024年4月1日時点の残高	53,380	369	52,635	139,515	△351	139,163
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)	—	—	—	7,639	△58	7,581
その他の包括利益	2,783	12	2,275	2,275	△10	2,264
四半期包括利益合計	2,783	12	2,275	9,914	△68	9,845
新株の発行	—	—	—	36	—	36
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	△4,917	—	△4,917
新株予約権及びリストラクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	—	—	△2	—	△2
株式報酬取引	—	—	—	348	—	348
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	319	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	319	△4,534	—	△4,534
2024年12月31日時点の残高	56,163	381	55,229	144,894	△420	144,474

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2025年4月1日時点の残高	48,623	42,039	2,991	△568	—	△233	△17
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）	—	—	695	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	752	△3,785	17
四半期包括利益合計	—	—	695	—	752	△3,785	17
新株の発行	158	173	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△5,306	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	△66	51	—	—	—	—
株式報酬取引	—	312	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	752	—	△752	0	—
所有者との取引額合計	158	420	△4,503	△0	△752	0	—
2025年12月31日時点の残高	48,781	42,460	△817	△568	—	△4,018	△0

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2025年4月1日時点の残高	48,447	357	48,553	141,639	△468	141,171
四半期包括利益						
四半期利益（△は損失）	—	—	—	695	△161	534
その他の包括利益	25,076	△431	21,629	21,629	△47	21,582
四半期包括利益合計	25,076	△431	21,629	22,325	△208	22,116
新株の発行	—	—	—	331	—	331
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	△5,306	—	△5,306
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	—	—	△15	—	△15
株式報酬取引	—	—	—	312	—	312
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△752	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△752	△4,677	—	△4,677
2025年12月31日時点の残高	73,524	△74	69,431	159,287	△677	158,610



## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	12,491	2,503
減価償却費及び償却費	21,338	20,280
支払利息	4,594	4,215
営業債権の増減額 (△は増加)	5,115	4,195
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,412	△3,958
営業債務の増減額 (△は減少)	292	7,433
その他	△4,912	2,519
小計	33,507	37,189
利息及び配当金の受取額	307	183
利息の支払額	△5,027	△3,885
法人所得税の支払額	△3,297	△6,326
法人所得税の還付額	2,188	66
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,677	27,227
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△8,325	△6,175
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	547	355
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	307	—
その他	1,253	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,217	△5,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△720	402
長期借入による収入	228	4,228
長期借入金の返済による支出	△20,204	△21,455
リース負債の返済による支出	△5,268	△4,416
株式の発行による収入	37	0
親会社の所有者への配当金の支払額	△4,732	△5,131
その他	△2	3,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,662	△22,555
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△1,317	6,403
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,520	5,282
現金及び現金同等物の期首残高	47,044	39,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,523	44,875

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## ① 報告セグメント

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業内容
糖尿病マネジメント	血糖値測定（BGM）システムの開発製造販売、持続血糖測定（CGM）システムの販売
ヘルスケアソリューション	臨床検査事業の展開、レセプトコンピュータ・電子カルテ等医療IT製品の開発販売、創薬支援事業の展開
診断・ライフサイエンス	病理検査機器、研究・医療支援機器、診断薬・診断機器並びに電動式医薬品注入器等の開発製造販売

## ② セグメント収益及び業績

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	74,214	94,202	96,060	264,477	2,433	266,910
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	74,214	94,202	96,060	264,477	2,433	266,910
営業利益（△は損失）	10,544	5,959	6,722	23,226	△6,197	17,028
金融収益						306
金融費用						4,844
税引前四半期利益（△は損失）						12,491
その他項目						
減価償却費及び償却費	4,951	7,445	8,458	20,854	484	21,338
減損損失（△は戻入れ）	△80	—	—	△80	△36	△117

（注） 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジ メント	ヘルスケア ソリューション	診断・ライフ サイエンス	計	その他及び 調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への 売上収益	77,077	95,218	92,392	264,689	4,562	269,251
セグメント間の 売上収益	—	—	—	—	—	—
計	77,077	95,218	92,392	264,689	4,562	269,251
営業利益（△は損失）	14,737	4,929	2,337	22,003	△4,895	17,108
金融収益						230
金融費用						14,835
税引前四半期利益（△ は損失）						2,503
その他項目						
減価償却費及び償却費	3,524	7,802	8,506	19,833	447	20,280
減損損失（△は戻入 れ）	—	—	1	1	—	1

（注） 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

## (売上収益)

## 収益の分解

主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	その他	合計
地域別					
日本	2,990	93,707	16,318	171	113,187
欧州	39,965	164	23,164	—	63,294
北米	16,682	69	42,738	—	59,491
その他	14,575	260	13,839	2,262	30,937
合計	74,214	94,202	96,060	2,433	266,910

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	その他	合計
地域別					
日本	2,550	94,801	15,843	138	113,333
欧州	42,470	179	24,994	—	67,644
北米	18,230	38	38,252	—	56,521
その他	13,825	199	13,303	4,423	31,751
合計	77,077	95,218	92,392	4,562	269,251